

藻類養殖情報（令和3年12月号）

令和3年12月14日発行
 大阪府立環境農林水産総合研究所
 水産技術センター

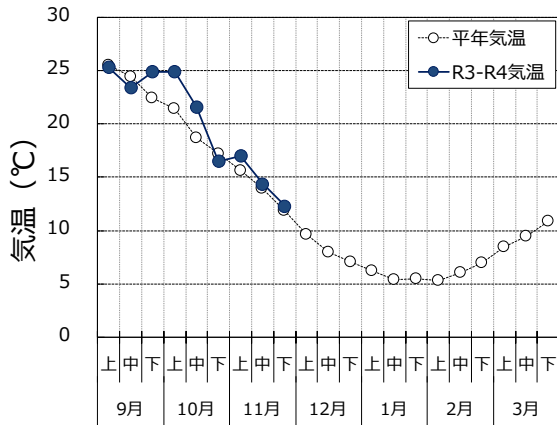
○漁場環境

- ・気温（谷川）：11月上旬は平年より1.4℃程度高め、中・下旬はおおむね平年並みに推移しました。
- ・水温（谷川）：11月上旬から中旬にかけては平年並みに降温しましたが、下旬には強い西風が吹く日が続いたため水温が急低下し、平年より0.6℃程度低めとなりました。

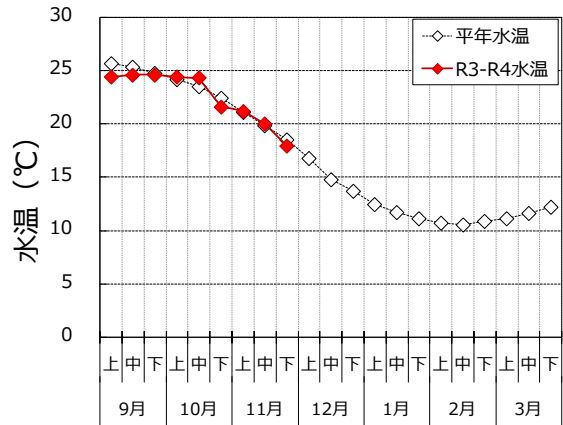
下記の水産技術センターホームページでも水温情報を毎日更新しておりますのでご利用下さい。

携帯電話でご利用の方は右のQRコードを読み取ってください。

URL：<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/suisan/gijutsu/suion/index.html>



※平年値はH23～R2年度の平均



※平年値はH23～R2年度の平均

旬別水温・気温の推移（谷川地先9時）（平年値はH23～R2年度の平均）

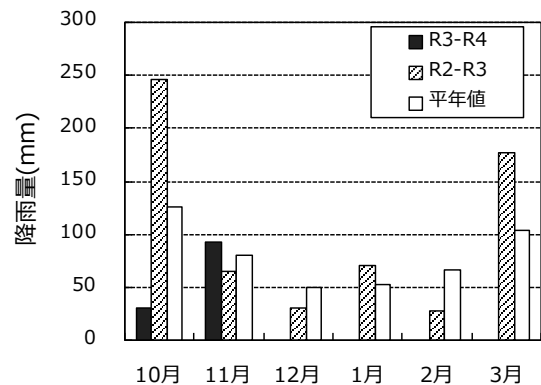
- ・降雨量（谷川）：11月上旬から中旬は降雨量が少な目で穏やかな日が続きましたが、下旬にはまとまった降雨があり、平年並みの降雨量となりました。

・今後の気温降雨量予測（気象庁季節予報）

12月11日～1月10日の期間中には、期間前半を中心に高気圧に覆われやすいため、降水量は平年並みか少ないと予報されています。気温は、期間の初めは高めですが、以降は平年並みか低めに推移すると予報されています

季節予報の詳細につきましては右のQRコードもしくは下記のURLから気象庁ホームページをご確認ください。

URL：https://www.jma.go.jp/bosai/season/#area_type=offices&area_code=270000



降雨量（谷川地先）

（平均値はS47～H27年度の平均）



○漁場水質調査結果（12月6日採水）

- 塩分：塩分は 30.00～32.28 でした。
- リン：各地区のリン濃度は 0.47～1.31 $\mu\text{mol/l}$ でした。全地区でワカメには十分な濃度がありました。しかしながら、谷川地区ではノリの色落ち警戒濃度を下回りやや低めな状況にありました。また、ノリ漁場のある西鳥取地区でもノリの色落ち警戒濃度をかろうじて上回る程度で、今後の天候次第では急に悪化する可能性もあります。
- 窒素：各地区の濃度は 4.58～22.87 $\mu\text{mol/l}$ でした。全地区でワカメの生育には十分な濃度ですが、西鳥取地区以南では 4.58～8.73 $\mu\text{mol/l}$ とノリの色落ち警戒濃度を下回る低い濃度となっています。

	ワカメ	ノリ
リン ($\mu\text{mol/l}$)	0.1	0.5
窒素 ($\mu\text{mol/l}$)	2	10

藻類色落ち警戒栄養塩濃度
(この数値を下回ると色落ちの可能性あり)

※青字はノリの色落ち警戒濃度以下、赤字はワカメの色落ち警戒濃度以下

漁場	田尻	岡田浦	尾崎 *	西鳥取 *	下荘	谷川 (地先)	谷川 (豊国崎)
塩分 (psu)	31.35	31.35	30.00	31.58	31.54	32.26	32.28
リン ($\mu\text{mol/l}$)	0.77	0.71	1.31	0.51	0.59	0.48	0.47
窒素 ($\mu\text{mol/l}$)	12.42	11.62	22.87	6.97	8.73	4.90	4.58

*尾崎・西鳥取地区にはノリ漁場があります。

○赤潮発生状況

12月6・9日の海洋観測では大阪湾内に赤潮の発生は確認されませんでした。最近の大阪湾内の赤潮発生状況については下記の水産技術センターホームページに掲載しておりますのでご参照下さい（冬季は2週間に1回更新）。

URL：<http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/suisan/gijutsu/akashio/akashio/sokuho.html>



○養殖状況（12月6日）

ノリ：西鳥取・尾崎両地区ともに11月20日頃には育苗中のノリ網の入庫が完了しました。両地区とも11月末頃から順次ノリ網の張り込みが開始されています。

ワカメ：各地区とも入手した種系の質にばらつきがあったものの、11月中旬から下旬にかけて、種系の挟み込み作業が行われ、順次養殖が開始されています。谷川では1月上旬の本養殖開始に向け、水槽内で種系の生産を行っています。

○病害異常

今のところ病害異常はありません。

ノリ：気温や水温の変動が大きい季節です。葉体の状況をよく確認してください。

ワカメ：養殖開始後のワカメは、泥汚れによる生長不良が生じやすい時期になります。定期的に葉体を観察するよう心がけてください。

※ノリ・ワカメの異常が疑われる際には、水産技術センターへ葉体を持参して頂ければ、随時検査します。